

中学生防災通信ボランティア平成30年度第1回訓練

日時 平成30年6月24日(日)

午後1時30分～

場所 幡豆いきいきセンター

つつじホール

- 1 挨拶
- 2 三ヶ根通信ボランティア紹介
メンバー自己紹介
- 3 中学生防災通信ボランティアメンバー自己紹介
- 4 中学生防災ボランティアの仕事の解説
非常通信の解説
避難場所の所在地の解説
その他
- 5 第1回通信訓練(トランシーバー操作実習)
特定小電力トランシーバーで8班に分け送受信訓練実施
高台の幡豆公民館方面と「いきいきセンター」とで情報伝達
(降雨時は、昨年度と同じく「いきいきセンター」内で実施)
- 6 その他
 - ・「三ヶ根通信ボランティア」のホームページ
アドレス <http://yaromai.dip.jp/stv/> トップページのみ一般公開
OGOBのページ パスワードが必要(ボランティアメンバー、OGOB、関係者)
UserName「 」 Password「 」
 - 活動予定、活動の写真や訓練資料を中心に掲載する。
 - ・アマチュア無線の雑誌紹介 月刊「CQ ham radio」
幡豆図書館に西尾市雑誌スポンサー制度によるアマチュア無線クラブによる寄付
 - ・第2回訓練 12月上中旬の日曜日予定
 - ・記念集合写真撮影

○ 通 信 訓 練

トランシーバについて

- ・電力の大きなものを使用するのは無線従事者免許がいる
- ・免許のいないものは、電波の届く範囲がせまい。
- ・非常通信の場合は、生命が大切なので制限がない。

トランシーバーによる通信

- ・片通話である。携帯電話と違う。糸電話と同じ。
- ・PTTボタンを押しながら話す。PTTボタンを離して聞く。
PTT(P u s h T o T a l k)
- ・「どうぞ」と「おわり」が必要

通信をするとき

- ・はっきり落ち着いて話す。
- ・すぐには聞きなおせないの、わからなかったところがあれば、そこを覚えておく。
- ・トランシーバのMIC部分に口を近づける(離すとエコーがかかったような声になる)
- ・一度に多く話さない。
- ・特に語尾をはっきり言う。また子音は伝わりにくいのはっきり言う。
- ・誰が誰と話しをしているかがわかること。
- ・訓練のときは、必ず「**訓練**」の言葉を言う。

訓練内容

避難所 「本部、本部、こちらは()避難所の()です。
感度いかがですか? どうぞ」

本 部 「()さん、こちらは()です。
(感度の状況を伝える) どうぞ。」

感度の状況 ・感度良好です。
・少し雑音が入りますが、わかります。
・雑音が多くて聞きづらいです。
・ほとんど、了解できません。もう一度お願いします。

避難所 「〇〇さん、それでは〇〇避難所から、本部へ報告がありますので、送っていいですか? どうぞ」

本 部 「送ってください。どうぞ」

避難所 「**訓練** こちらは、〇〇避難所の〇〇です。 報告は、

(報告文を送る)

です。」以上です。どうぞ」

本 部 「了解しました。復唱します。

訓練 (受信文を読み上げる) これでいいですか? どうぞ」

避難所 「間違いありません。こちらは〇〇避難所でした。おわり」

本部 「()さん 了解しました。おわり」

報 告

避難所名	東幡豆小学校 幡 豆 小学校	いきいきセンター 鳥羽老人憩の家	
名 前			
時 間	時	分	現在
避難者数	人		
被害状況	/		
負傷者	人		
倒壊家屋	棟		
ライフライン	/		
電 気	停電	戸	
電 話	不通話	戸	
水 道	断水	戸	
その他	簡潔(短文)に記入		

送信 受信 時間

時 分